

各 位

2010年1月29日
日本電工株式会社
問合せ先：総務部
電話 03(3546)9319

自動車用電池材料の新工場竣工について

このたび弊社高岡工場において、自動車用リチウムイオン電池の正極材料であるリチウムマンガンスピネル(LMS)の新工場が完成し、本日 竣工式を執り行いましたのでお知らせします。

弊社の電池材料事業は、リチウムマンガンスピネル(LMS)のパイオニアとして1997年から商業生産を開始し、様々な用途向けに高品質な製品を供給して参りました。

2008年には、電動アシスト自転車や電動工具の電池向けの需要増により、既存工場の生産能力を700t/年規模に増強いたしました。その後、電気自動車やハイブリッド車といった自動車向けの需要増に対応するため、2009年に高岡工場内において生産能力2,000t/年の新工場建設に着手、このたび完成いたしました。現在、試験操業を開始しており、2010年春より本格的に出荷を開始する予定です。

今回の新工場は、自動車用リチウムイオン電池を製造する有力需要家からの要請に基づく第1期工事ですが、今後の需要増に対応するための更なる設備増強についても現在鋭意検討を進めております。

新工場の概要

場所	富山県高岡市 (弊社 電池材料事業部高岡工場内)
建築面積	2千㎡ (鉄骨造り・地上2階建)
生産能力	2,000t/年

設備能力の推移

- ・2008年 ライン増強 700トン/年
- ・2010年(今回) 新工場完成 2,700トン/年 (従来工場との合計)

リチウムマンガンスピネル = Lithium Manganese Spinel (LMS)について

- ・リチウムイオン電池(LIB)の正極材料。過充電に強く安全性に優れ、高出力放電が可能なことから、電動工具用や電動自転車用に需要が伸びている。
- ・自動車用には、長期寿命特性(高温サイクル特性、保存特性)とエネルギー密度の改善が課題であったが、弊社が開発し量産化に成功したLMSは、これらの課題を解決したことから、10年以上の長期信頼性が要求される自動車用(電気自動車、ハイブリッド車用)のLIBに採用が決まっている。
- ・今後は自然エネルギーを利用したエコ発電に不可欠な電力貯蔵用にも需要が見込まれている。

以上



新工場外観